平成30年度　栃木県立矢板東高等学校定時制課程　学校評価シート

教育目標



達成度

Ａ　ほぼ達成（8割以上）

Ｂ　概ね達成（6割以上）

Ｃ　変化の兆し（3割以上）

Ｄ　不十分（3割未満）

本年度の重点目標

　１　学習指導の強化…基礎基本の定着、学び直しの支援

　２　生徒指導の充実…規律ある生活、基本的生活習慣の確立

　３　進路指導の改善…進路目標の明確化と職業観・勤労観の育成

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学　　校　　自　　己　　評　　価 | | | | | | | |  | 学校関係者評価 |
| 現状と学校評価実施計画 | | | | | 達成状況と改善策 | | |  | 実施日 平成　年　月　日 |
| No | 現状と課題 | 評価項目 | 具体的方策 | 方策の  評価指標 | 方策の達成状況 | 達成度 | 次年度への  課題と改善策 |  | 学校関係者からの  評価・意見等 |
| １ | 【学習指導】  ・不登校や学習時間の不足から、小･中学校の学習内容が定着していない生徒が多く見られる。  ・学ぶことへの意欲が低い生徒がいる。  ・非常勤講師を除き、各教科1名の体制であるため、教員同士で切磋琢磨する場面が少ない。 | (1)教員の授業力の向上 | ①年間２回の校内公開授業における授業への積極的な参観や見学者アンケート等により授業力の向上を図る。 | ・１回の公開授業における１人５回以上の参観の実施状況  ・アンケート結果の授業者振り返りへの活用状況 | ・ |  | ・ |  | ・ |
| ②授業評価を組織的に実施し結果を踏まえ改善を図る。 | ・組織的な授業評価の実施状況 |
| (2)基礎学力の定着 | ①漢字テストとマイスタディの事前・事後指導の毎回実施と時間ごとに小テストを実施し、返却時に担当教科で事後指導を行い、基礎学力の定着を図る。 | ・小テストの実施状況  ・事後指導の実施状況 | ・ |  | ・ |  |
| ２ | 【生徒指導】  ・長期欠席、不登校、ひきこもりなどの経験者が多く、様々な生活経験・体験が乏しい。  ・失敗することを嫌い、行動しない選択をとりたがる。  ・自ら考え行動するのでなく、指示されることを待つ事が多い。 | (1)規範意識の向上 | ①生徒理解を推進するため、生徒への声かけをする。 | ・年に２回の面接週間による生徒理解の状況 | ・ |  | ・ |  | ・ |
| ②生徒並びに保護者へ寄り添い、報告・連絡・相談を徹底する。 | ・教育相談の充実による共通理解の状況 |
| (2)基本的生活習慣の確立 | ①皆勤を目指すはたらきかけを実施する。 | ・欠席・遅刻・早退数の減少（昨年度比） | ・ |  | ・ |  |
| ②担任等への保護者及び生徒からの連絡を徹底させる。 | ・きめ細かな双方向の連絡の実施状況 |
| ３ | 【進路指導】  ・職業観・勤労観が未熟な生徒が多い。  ・自己理解の不足から、進路目標を明確に出来ない生徒が多い。 | (1)職業観の育成・進路意識の高揚 | ①行事内容を検討・改善し、職業観の育成、進路意識の高揚を図る。 | ・各行事のアンケートおよび作文等の評価結果 | ・ |  | ・ |  | ・ |
| ②勤務先調査を実施するとともに、昼間の時間を効果的に活用するよう働きかけ、働くことの意味を考えさせる。 | ・勤務先調査の結果で就労率75％以上  ・職業観に関する生徒アンケート結果 |
| (2)自己理解の深化 | ①ＬＨＲや総合的な学習の時間等における取組や適性検査の結果の面談等へ効果的活用を図る。 | ・職業観に関する生徒アンケート結果  ・進路希望調査における未定者の減少 | ・ |  | ・ |  |